

シニアボランティア
平成 25 年 10 月派遣
荒谷 昭道
職種：コンピュータ技術

私は、平成 25 年 10 月よりアフリカ東南部の国モザンビークの首都マプトで、シニアボランティアとして教育大学の情報センターにて、サーバーの管理とネットワークの管理を主に担当しています。



教育大学



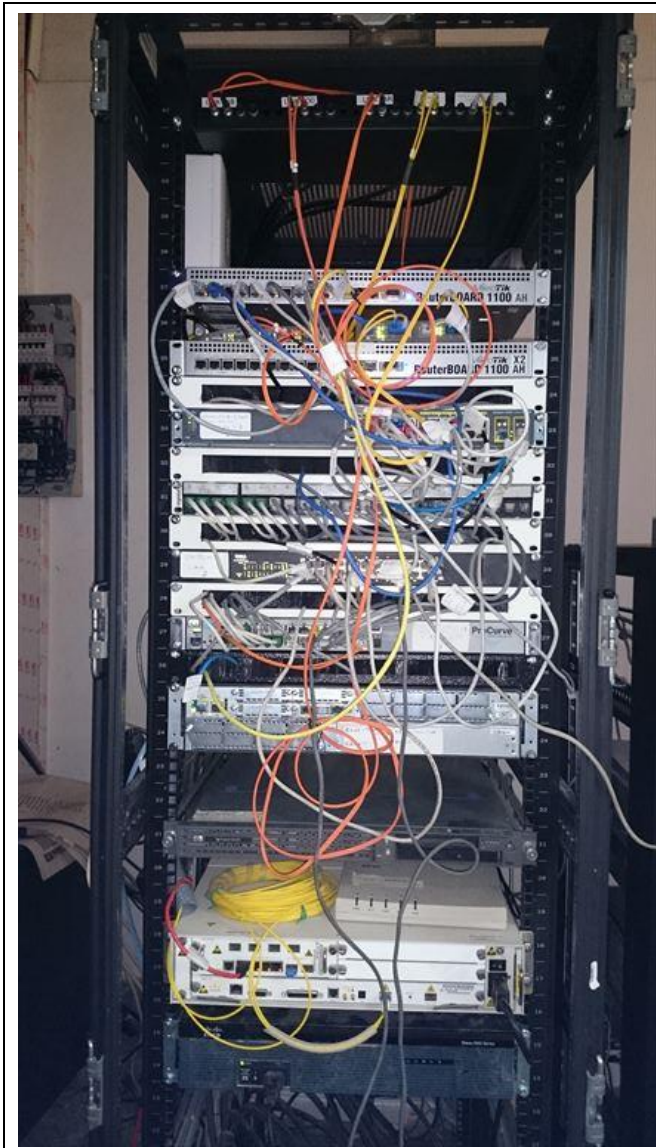
同僚

モザンビークの言語はポルトガル語ですが、コンピュータは英語が世界の主要言語となっているので、仕事ではもっぱら英語で通しています。普段の生活でもほとんど英語で通しているのでポルトガル語がほとんど上達していません。今回が3度目の派遣で言語も5カ国語勉強したので何が何だか分からなくなっています。秋田県出身ですが、青森在住も長いので日本語もごちゃ混ぜで変ですけど。

普段、同僚はポルトガル語しか話さないなので、コミュニケーションはあまり上手くいってませんが、秋田の血を受け継いで飲みケーションは上手く行ってます。モザンビーク人は、酒が非常に強いので、最後まで付き合いきれませんが。



底なしに飲む同僚と生徒



ネットワーク



サーバー

日々の仕事は、主に学内のネットワークの監視と管理及びサーバーの管理です。教育大学は、モザンビーク全土に 20 校ほど分校を持っていて、学生数は 4 万人位居ます。年々、学生数が増えていて現在は、3 部制（午前、午後、夜間）で授業が行われています。マプト市内にもキャンパスが 4, 5 箇所あるようで、平日は 500 台位のコンピュータ、及びスマホがネットに接続されています。分校からはインターネット経由で接続してくるので、滞りなく接続出来るように監視するのが仕事の一つです。

その他には、セキュリティ上の問題が無いか監視しています。サーバーは外部に公開しているので、日々外部から侵入されないように見張ってます。でも、夜間は監視できないので全て防ぐことは不可能で、なるべく被害が大きくなるようにするのが仕事です。

配属先の情報センターは、PC の購入、設置、修理も担当して居るので、たまに修理依頼にも応じています。その他に、IP 電話の管理もしていて、現在、全分校に拡張するために機材を購入し、設定作業を行っています。設定作業が終わり次第、分校に持っていき設置する予定です。モザンビークは国土が広いのと交通手段が発達していないので設置までかなり時間が掛かりそうです。

プライベートでは、スワジランドの自然公園とかマラウイ湖に行ったり、最近ではケープタウンに旅行したりしてます。何処も地続きなのでバス移動も可能なのですが、アフリカは広いのと安全の為に飛行機を利用することが多いです。モザンビークの周りは皆英語圏なので、英語が通じると何故か安心感があります。モザンビークでは英語を話す人が少ないので、英語をしゃべれそうな人を見つけては道を聞いたり、宿を聞いたりしていましたが、誰に聞いても話が通じるので困ることはありません。



マラウイ湖 (ニアッサ湖)



喜望峰